

科目名	コマース研究ゼミナール	科目コード	1210	単位数	2
担当者名	澤内 大輔	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	演習	到達目標	G,H	実務経験	無
ナンバリング	HS502	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

本講義では、農産物貿易や環境問題などをテーマに、ゼミでの議論やそのための準備を通じ、自ら課題を発見し解決する能力を身に付けることを目標とします。

3年次前期に開講するコマース研究ゼミナールIIでは、自分の主張をサポートする根拠を得るためのデータの分析方法を学びます。信頼できる根拠を得るためには、データをどのように集め、どのように加工すればよいのか、実際に自分の手を動かして学んでいきましょう。

また、テキストで学んだ知識を実践するための学外実習も実施予定です。

● 到達目標

- ・ 学生が、基本的な統計用語を理解し、簡潔に論述できる。
- ・ 学生が、与えられたデータの要約統計量を求めることができる。
- ・ 学生が、表計算ソフトを用いて、回帰分析や相関分析を実施できる。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス：テキストの決定、担当者の割り振り
- 2週目 テキストの輪読：第1章
- 3週目 テキストの輪読：第2章
- 4週目 テキストの輪読：第3章
- 5週目 テキストの輪読：第4章
- 6週目 テキストの輪読：第5章
- 7週目 テキストの輪読：第6章
- 8週目 テキストの輪読：第7章
- 9週目 テキストの輪読：第8章
- 10週目 テキストの輪読：第9章
- 11週目 テキストの輪読：第10章
- 12週目 テキストの輪読：第11章
- 13週目 テキストの輪読：第12章
- 14週目 テキストの輪読：第13章
- 15週目 学外実習
- 16週目 学外実習についての報告会

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：テキストの該当箇所を読み、要点を把握するとともに、不明点を明らかにしておくこと。報告担当者は、報告用のレジメを作成すること。また、グループ・ワークの準備のために同じグループのメンバーと意見交換などしておくことが望ましい（所要時間：1.5時間）
 復習：ゼミでの議論を振り返り、テキストの要点を取りまとめること。（所要時間：1時間）

● 成績評価の方法・基準

ゼミへの積極的な参加態度（50%）、ゼミでの報告内容（50%）をもとに評価します。

● 履修上の留意点

- 成績評価は、11週以上ゼミナールに出席した学生を対象とします。つまり、5回目の欠席で単位取得要件を満たさなくなります。
- ゼミ内でインターネットを利用した資料収集、調査等を行うので、PC、スマホ、タブレット等の通信機器を持参すること（学内アクセスポイント使用予定）。

● 課題に対するフィードバックの方法

ゼミ時に、個別および全体に対して適宜フィードバックを行う。レポートや報告資料については個別にフィードバックする。

● テキスト

講義内で適宜指示します。

● 参考書

講義内で適宜指示します。

● 更新日付

2024/03/05 02:49